



直径100ミリのフィルターのサンプル

奥谷金網、孔直径100ミリの

ステンレス フィルター サニタリー配管向け

【神戸】奥谷金網製作所（神戸市中央区、奥谷智彦社長）は、独自のレーザーパUNCHING加工技術により直径100ミリの（マイクロは100万分の1）の孔加工を実現したステンレス製フィルターを開発した。孔形状が均一で強度を維持でき、破損しにくい構造で既存のサニタリー配管にも装着可能。食品や医薬、化粧品製造工程など向けに提案し、コンタミネーション（異物混入）のリスク低減に貢献する。

奥谷金網が近く発売するのはコンタミ対策のステンレス製フィルター「キャッチネット」。同社独自のレーザーパUNCHING技術により、従来最小で直径

106ミリの程度まで対応する。消費税抜きの価格は3～5万円。

加工寸法は300ミリの四方前後まで対応可能で、今後は1000ミリの四方程度まで広げることが目指す。食品や医薬品、化粧品などの製造工程で使う液体系フィルターだが、既存の織金網より表面が滑らかで洗浄しやすい利点がある。

今回開発したフィルターは多彩な形状に加工できる強みもあるため、データセンター（DC）の冷却用フィルターなど幅広い分野で提案できるとみる。

同社はキャッチネットを含めたレーザーパUNCHING関連で、2030年5月期に事業売上高1億円を計画する。